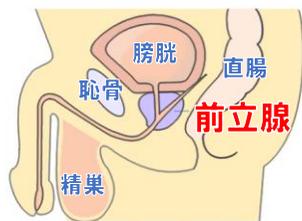


前立腺肥大

前立腺は30歳代後半から肥大が始まり、60歳では半数以上に、85歳ではほとんどの人が肥大しているといわれています。そのうち25%に前立腺肥大症の症状が出ます。前立腺肥大の原因は不明ですが、男性ホルモンと加齢が強く関与しており、これに生活習慣病や遺伝的要因が危険因子としてあげられています。今回は前立腺肥大について解説します。

前立腺の機能

前立腺はクルミ大で、重さは約15~20gです。精子を守り、活性化する作用をもつ、前立腺液を分泌しています。また、尿道を閉めて尿がもれないようにする働きもあります。



自覚症状の評価

自覚症状を評価するには、国際前立腺症状スコア(IPSS)を用います。また、QOLスコア質問表で、症状がどれくらい支障となっているかも評価できます。

国際前立腺症状スコア (IPSS) と QOLスコア (前立腺肥大症診療ガイドラインより引用)

どれくらいの割合で次のような症状がありましたか？	全くない	5回に1回の割合より少ない	2回に1回の割合より少ない	2回に1回の割合くらい	2回に1回の割合より多い	ほとんどいつも
この1か月の間に、尿をしたあとにまだ尿が残っている感じがありましたか	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、尿をしてから2時間以内にもう一度しなくてはならないことがありましたか	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、尿をしている間に尿が何度もとぎれることがありましたか	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、尿を我慢するのが難しいことがありましたか	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、尿の勢いが弱いことがありましたか	0	1	2	3	4	5
この1か月の間に、尿をし始めるためにお腹に力を入れることがありましたか	0	1	2	3	4	5

	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
この1か月の間に、夜寝てから朝起きるまでに、ふつう何回尿をするために起きましたか	0	1	2	3	4	5

IPSS **点**

	とても満足	満足	ほぼ満足	なんともいえない	やや不満	いやだ
現在の尿の状態がこのまま変わらずに続いたら、どう思いますか	0	1	2	3	4	5

QOLスコア 点

IPSS重症度: 軽症(0~7点)、中等症(8~19点)、重症(20~35点)
QOL重症度: 軽症(0、1点)、中等症(2、3、4点)、重症(5、6点)

検査

直腸指診

直腸を通して前立腺を触診し、肥大の程度や硬さや形などから、前立腺がんとの区別もできます。

腹部超音波検査

前立腺の大きさを調べることができます。また、排尿後の膀胱内の残尿を調べることができます。経直腸的に超音波をあてると、より詳細に調べることができます。

尿流測定

便器状の測定装置に排尿するだけで、尿の出る速さを調べることができます。

治療

それほど重症でなければ、まず薬物療法を行って経過をみます。

α遮断薬	現在最も多く使われる薬剤です。尿道を広げることで、尿の出具合を改善します。
5α還元酵素阻害薬	前立腺細胞の増殖に働くジヒドロテストステロンを抑えることにより、前立腺を縮小させます。
抗アンドロゲン薬 (抗男性ホルモン薬)	前立腺に対するアンドロゲンの作用を抑える薬ですが、5α還元酵素阻害薬とは作用機序が異なります。

外科的治療

経尿道的前立腺切除術	最も広く行われている方法で、尿道から内視鏡を挿入し、肥大した前立腺を尿道側から切除します。
ホルミウムレーザー前立腺核出術	最近、広まりつつある手術方法で、尿道から内視鏡を挿入し、レーザー照射により、肥大した前立腺をくり抜きます。
尿道ステント	前立腺により圧迫された尿道にステントという筒状のものを留置する方法で、手術が困難な場合のみに行われます。